

通信 おぐに荘

第 27 号

令和元年 8 月 25 日

新潟県長岡市小国町新町 852-4

救護施設 おぐに荘

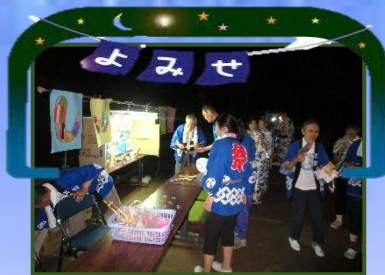
TEL 0258-95-3400

FAX 0258-95-3451

ホームページアドレス

<https://www.kashikari-fukushi.com>

題字：稲波恵子様



おぐにの夜に熱い熱い太鼓の音が鳴り響く



くじ引きにも大きな歓声



広がる盆踊りの輪

おぐに荘盆踊りを地域の皆さまと一緒に

連日にわたる猛暑のなか、八月十日に

盆踊りが行われました。この日も日中から強い日差しが照りつけて、身体にこたえるような暑さとなりました。一方で、利用者の方々は職員の心配をよそに、元

今年もボランティアを含む地域の皆

さまより、百名を超える大勢の方々からご参加いただき、祭りを盛り上げてくださいました。お囃子の音に誘われ、どんどんと広がる櫓の輪。漲る力が集まって



威勢良く神輿を担ぐ利用者



境内にて餅まき



見学組も応援に参戦

わっしょい！
わっしょい！
わっしょい！

春祭り

四月十四日、地元の新町集落の春祭りに、おぐに荘からも精鋭十名の利用者が参加させていただきました。
毎年恒例となるこの春祭りは、おぐに荘にとっても新年度最初の行事。わくわく感じっぱいのなかはっぴ姿に身を包み、威勢良いかけ声で神輿を担ぎ、集落を練り歩きました。一緒に掛け合う「わっしょい、わっしょい」のかけ声は、沿道の観客方々をも巻き込んで氣勢もどんどんと急上昇。地域の皆さまと味わえた一体感に、利用者も充実のひと時となりました。担いだ神輿は、数日前から利用者と職員が一緒に装飾した私たちの自信作。来年もいっそう装飾に力を入れて、春祭りに臨みたいと思います。

神輿を担いで新町を練り歩く



食のイベントで昼食を楽しむ



おぐに荘では、『魅力ある施設づくり』に取り組むなか、その一環として、通常の食事提供の他に、「食のイベント」と称した食事提供も進めています。五月十五日のカレーライス作り体験、七月二十三日の流しそうめん体験もその一つです。なかなか日ごろ出来ないことも、利用者の皆さんのリクエストに応え、少しずつかたちにできるよう努めています。



体育館を調理場として、お米とぎから始めました。メンバ

ーで協力し合って一緒に作りました。包丁使いに少し苦戦した様子もありましたが、楽しく調理出来ました。

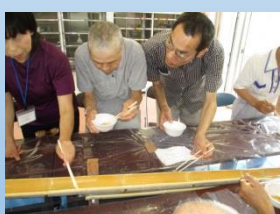


※食のイベントでは、この他にもおやつバイキングなど、様々なことにチャレンジしています。



流しそうめんは、本物の竹を使っての実践です。車いす

の方も参加できるように、高さや流れるスピードも考慮しました。利用者の全員から体験していただきました。



フラダンス慰問に心癒やされる



六月十一日、『ウイラニメアフラ』の皆さまによるボランティア慰問として、フラダンスをご披露いただきました。

素敵な衣装とフラダンスに利用者の皆さんもうっとり。美しいフラの世界に引き込まれていきました。最後は振り付けをまねての共演も。気持ち良くフラを体感し、ゆったり踊って疲れた心を癒すことができました。



ボランティア募集

おぐに荘ではボランティアに来てくださる方を募集しています。例えば・・・

- 利用者さんとの話し相手
- 利用者さんの衣類の洗濯
- 草取りや掃除等の施設環境整備
- 歌や踊りの慰問活動

～福祉に興味のある学生さん、特技をお持ちのお父さん、お母さん、おぐに荘事務局までお気軽にお問い合わせください。（担当…佐藤・山本・穴澤）

【問い合わせ先】

救護施設おぐに荘

〇二五八・九五・三四〇〇



あとがき

今年度、最初の『通信おぐに』を無事、発行し皆さまへお届けできたことをたいへん嬉しく思っております。このおぐに荘が、さらに地域に根差した施設となるように、今後も皆さまのお力を借りながらいつその努力をして邁進していきたいと思っています。あわせて、この広報紙を通じて、新たなおぐに荘を皆さまへご紹介できるよう、職員一同頑張っております。今後ともよろしくお願いいたします。